

### 3-4. 報告書作成変更

- ・ 3-1 でログインを行うと、分析結果報告書メニュー画面が表示されます。
- ・ 分析結果報告書メニューには、入力状態とチャート状態が表示されています。

報告書一覧表				
	名称	入力状態	チャート状態	アンケート
<input checked="" type="radio"/>	報告書[0]土壌試料(検液の作製)	入力中	-	
<input type="radio"/>	報告書[1]土壌試料(鉛とその化合物)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[2]土壌試料(砒素及びその化合物)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[3]模擬水質試料(農業)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[4]底質試料(PCB)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[5]底質試料(総水銀)	入力中	無し	
調査に関するアンケート		調査に関するアンケート		
		入力中		

図 3-4.1 分析結果報告書メニュー画面 報告書一覧

#### 入力状態について

- 「未入力」 : まだ入力が行われていない状態です。
- 「入力中」 : 入力が途中まで行われている状態 (一時保存されている状態) です。
- 「確定」 : 入力が確定した状態 (変更できない状態) です。

#### チャート状態について

- 「無し」 : チャート類のファイルが送付されていない状態です。
  - 「送付済」 : チャート類のファイルが送付されている状態です。
- チャートの送付については、「3-7. チャート類の送付と確認」を参照して下さい。

- ・ 分析結果報告書メニューから入力しようとする「分析結果報告書」を選択し、「報告書作成変更」をクリックすると別画面にて「報告書作成変更画面」が表示されます。

分析結果報告書[0] 1/2

1. 土壌試料  
1.0 土壌試料(検液の作製)

電話番号	<input type="text"/>		
分析担当者名	<input type="text"/>		
分析担当者の経験年数(年)	<input type="text"/>	年	
分析担当者の実績 (年間の分析試料: 試料/年)	<input type="text"/>	試料/年	
分析担当者以外の分析結果の確認	-未選択- ▼		
<b>&lt;含水率&gt;</b>			
分析結果(%) 注1)	<input type="text"/>		
注1) 分析結果は有効数字3桁で記入する。複数回分析している場合では平均値を記入する。			
<b>&lt;試料液の調製&gt;</b>			
	1回目 注2)	2回目 注2)	3回目 注2)
鉛分析用(乾燥重量:g)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
砒素分析用(乾燥重量:g)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
注2) 鉛、砒素分析用試料をあわせて分解した場合は、それぞれの欄に重さを記入する。			
<b>&lt;3回の併行のために下記の&lt;試料液の調製&gt;以降は1~3回で概略同様であり、1回目の条件を記入する&gt;</b>			
塩酸1mol/Lの種類	-未選択- ▼ 3.その他( <input type="text"/> )		
塩酸1mol/Lの使用量(mL)	<input type="text"/>	mL	
容器の種類	-未選択- ▼ 4.その他( <input type="text"/> )		
容器の体積(mL)	<input type="text"/>	mL	

図 3-4.2 分析結果報告書作成変更画面

・入力方法は、「2. 記入方法」に従って下さい。また、各分析結果報告書の共通事項を記します。

**表 3-4.1 各分析結果報告書の共通事項**

分析主担当者	全角入力。実際にその項目の分析を手がけた人の氏名（複数で分析を行った場合は主として実施した人の氏名）とする。
分析主担当者の経験年数	数値（半角）入力。該当項目の記入時点での分析業務経験年数を整数（四捨五入による）で記入する。
分析主担当者の実績 （年間の分析試料数）	数値（半角）入力。分析主担当者が昨年度1年間に分析を行った環境試料の該当項目のおよその試料数を記入する。
分析（主）担当者以外の分析結果の 確認	分析結果報告書の作成にあたって、分析（主）担当者以外の分析結果確認の有無を記入する。

- ・各分析結果報告書の入力項目の詳細は、「4. 各報告書の詳細」を参照して下さい。

・操作ボタンについて

「一時保存」：現在入力中のページを一時保存します。

「前ページ」：前ページがある場合、現在入力中のページを一時保存し、前ページに移動します。

「次ページ」：次ページがある場合、現在入力中のページを一時保存し、次ページへ移動します。

「ダイレクトジャンプ」：現在入力中のページを一時保存し、指定したページ番号に移動します。

上記の操作を行うと、操作ボタンの下のメッセージエリアにアナウンスが表示されます。

・入力操作が終わりましたら、一時保存を行った後に、ブラウザ右上の「×：閉じる」ボタンをクリックし入力画面を閉じます。

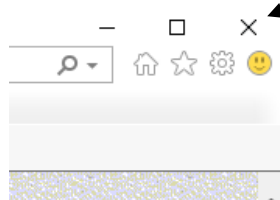


図 3-4.3 分析結果報告書作成変更画面 閉じる

・分析結果報告書メニュー画面の報告書一覧の入力状態が「入力中」と表示されます。

※ 入力の途中であったり、後で追加記入や修正を行う場合には、「一時保存」をすることができます。「一時保存」することによりデータベースに入力データが保存され、次回入力画面を開いた時には自動的にそのデータが読み込まれます。これにより、複数日にわたっての記入が可能です。「前ページ」「次ページ」「ダイレクトジャンプ」ボタンでページを移動するときには入力したデータが自動的に一時保存されますが、入力画面を閉じる際やコンピュータをシャットダウンする際などには自動的に一時保存はされません。また、入力画面を開いたまま、一時保存、前ページ、次ページ、ダイレクトジャンプ、ユーザ情報変更、パスワード変更など、サーバからデータを読み込むあるいは書き込む操作をせず 24 時間経過しますとサーバとの接続が切断され、自動的にログアウトされます。一時保存は入力中いつでも行えますので、ある程度データを入力なさった段階で、一時保存を行うようにして下さい。

※ 提出期限を過ぎると入力できなくなります。

※ 参加者専用ページへのログインは、1つの分析機関に対して複数人のログインが可能です。その際は一番最後に保存した人のデータが優先されて保存されますので注意して下さい。(例えば、〇〇〇機関に対して、3台のPCでAさん、Bさん、Cさんの3人の方が同じ時間帯にログインして報告書の入力作業が行えます。Aさん、Bさん、Cさんの順番で保存処理を行った場合はCさんの入力内容が優先されて保存されます。)

### 3-5. 報告書確認表示

・3-1でログインを行うと、分析結果報告書メニュー画面が表示されます。(図 3-4.1 参照して下さい。)

・分析結果報告書メニューから表示しようとする「分析結果報告書」を選択し、「報告書確認表示」をクリックすると別画面にて「報告書確認表示画面」が表示されます。

## 分析結果報告書[0] 1/2

### 1. 土壌試料

#### 1.0 土壌試料(検液の作製)

電話番号			
分析担当者名			
分析担当者の経験年数(年)	( )	年	
分析担当者の実績 (年間の分析試料:試料/年)	( )	試料/年	
分析担当者以外の分析結果の確認			

<含水率>

分析結果(%) 注1)			
-------------	--	--	--

**注1)** 分析結果は有効数字3桁で記入する。複数回分析している場合では平均値を記入する。

<試料液の調製>

	1回目 注2)	2回目 注2)	3回目 注2)
鉛分析用(乾燥重量:ε)			
砒素分析用(乾燥重量:ε)			

**注2)** 鉛、砒素分析用試料をあわせて分解した場合は、それぞれの欄に重さを記入する。

<3回の併行のために下記の<試料液の調製>以降は1~3回で概略同様であり、1回目の条件を記入する>

塩酸1mol/Lの種類			
塩酸1mol/Lの使用量(mL)	( )	mL	
容器の種類			
容器の体積(mL)	( )	mL	

<試料液調整後の放置時間>

試料液の調製から溶出操作(振とう)までの 放置時間(時間)	( )	時間 注3)
----------------------------------	-----	--------

**注3)** 時間単位で記入する(例えば、30分では0.5時間とする)。なお、試料液の調製後直ちに振とうした場合には0(ゼロ)時間とする。

<溶出(振とう)操作>

容器の置き方/振とう方向			
気温(室温:℃)	( )	℃ 注4)	
気圧(hPa)	( )	hPa 注5)	
振とう機	振とう回数(回/分)	( )	回/分
	振とう幅(cm)	( )	cm
	振とう時間(時間)	( )	時間 注6)
	方法		

**注4)** 振とう開始時の気温(室温)の概略値を記入する。  
**注5)** 振とう開始時の気圧の概略値を記入する。  
**注6)** 時間単位で記入する(例えば、30分では0.5時間とする)。

図 3-5.1 分析結果報告書確認表示画面



- 操作ボタンについて

「前ページ」：前ページがある場合、前ページに移動します。

「次ページ」：次ページがある場合、次ページへ移動します。

「ダイレクトジャンプ」：指定したページ番号に移動します。

- 各分析結果報告書の内容の確認が終了したら、ブラウザ右上の「×：閉じる」ボタンをクリックして、分析結果報告書メニューへ戻ります。

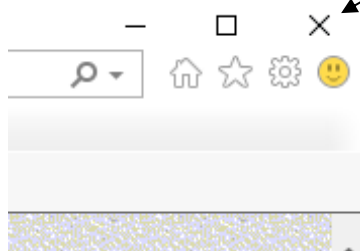


図 3-5.2 分析結果報告書確認表示画面 閉じる

- 印刷について

各種分析結果報告書の印刷は、ブラウザの基本機能で実現されます。方法は、「**3-6. 報告書の印刷**」を参照して下さい。